

ミクリ

Sparganium erectum L.
ガマ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域準絶滅危惧

【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

選定理由

従来普通に見られたが、開発や河川改修等によって生育地、個体数とも減少した。

分 布

北海道から九州に分布。県内では全域に散見されるが、自生地は局所的である。

種の特徴

浅い池や水路に生える多年生草本。高さ 50～150 cm。葉は茎より長く、幅 0.8～2 cm、裏面の中央に稜がある。花期は 6～8 月。葉腋から出る枝の上部に雄頭花、下部に雌頭花をつける。柱頭は白く、3～6 mm。集合果は直径 1.5～2 cm。

生育を脅かす要因

河川工事、湿地開発、道路工事、水質汚濁。

参考文献 林弥栄ほか（2013）、福井県植物研究会（1998）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○	○			○	○	○		○	○		○			○	○	○

ヤマトミクリ

Sparganium fallax Graebn.
ガマ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

選定理由

河川改修や水質の悪化等によって生育地、個体数とも減少している。

分 布

本州（中部地方以西）から九州に分布。県内では嶺北に分布する。嶺南にも採集記録があるが、50年以上前のもの。

種の特徴

沼や水路に生える多年生草本。高さ 50～100 cm。葉は線形、幅 4～10 mm。花期は 6～8 月。茎の上部の葉腋から枝を出し、枝の上部に雄頭花、下部に雌頭花をつける。雌頭花の柄は途中まで主軸と合着する。柱頭は長さ 2 mm 以下。

生育を脅かす要因

河川工事、池沼開発、水質汚濁。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982a）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
				○			○	○				○	○				

エゾホソイ

Juncus filiformis L.
イグサ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

生育地が奥越の亜高山の一部に限られる。

分 布

北海道～本州（中部地方以北）に分布。県内では奥越の亜高山の一部にみられる。

種の特徴

亜高山～高山の湿地に生える多年草。茎は細く、高さ 30～90 cm。花期は 7～8 月。花序は 3～5 花からなる。

生育を脅かす要因

産地局限。

参考文献 若杉孝生（2008b）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	